

令和6年度前期

学校評価アンケート集計結果 (保護者回答集計)

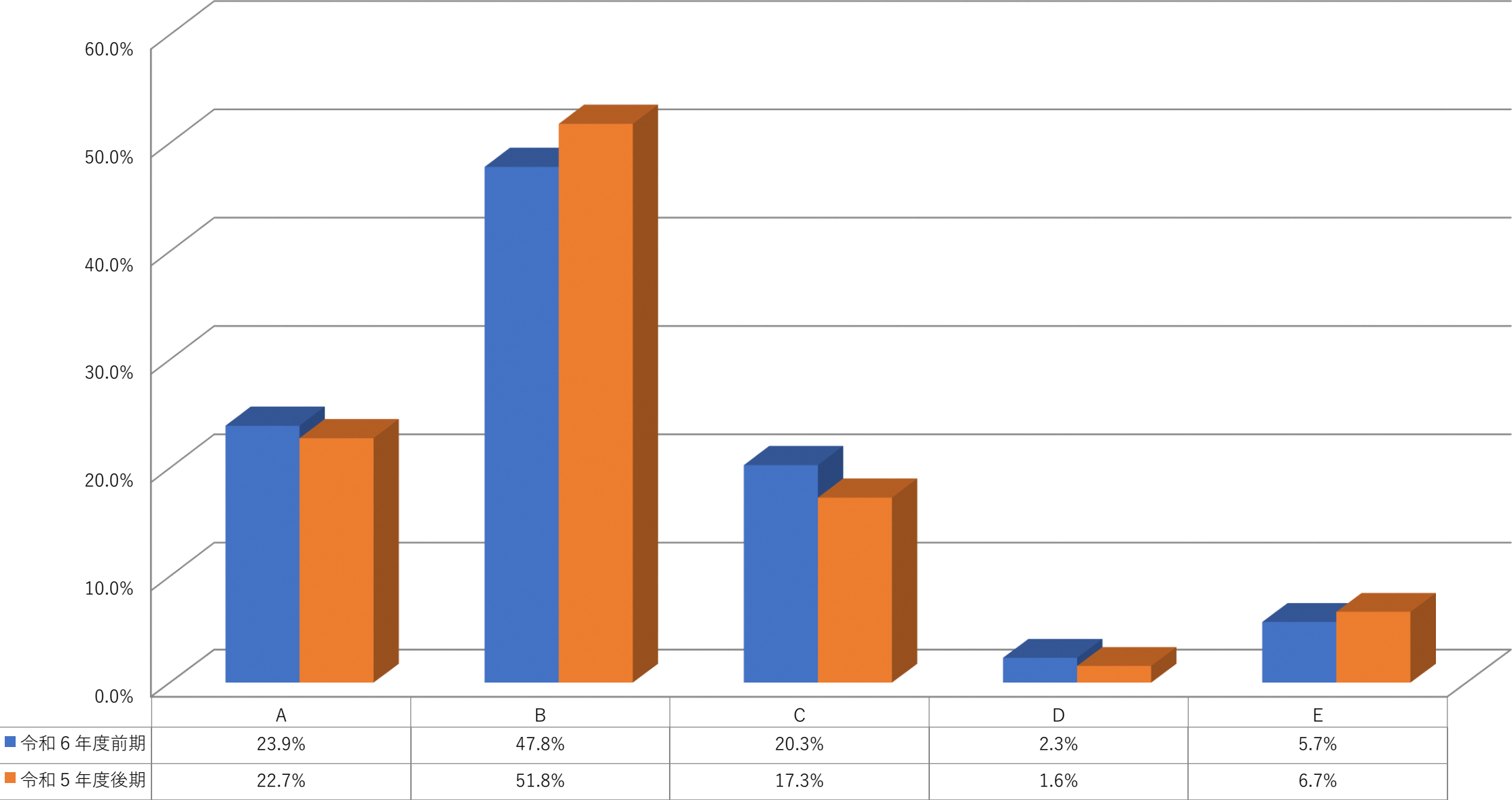


浦安市立東野小学校

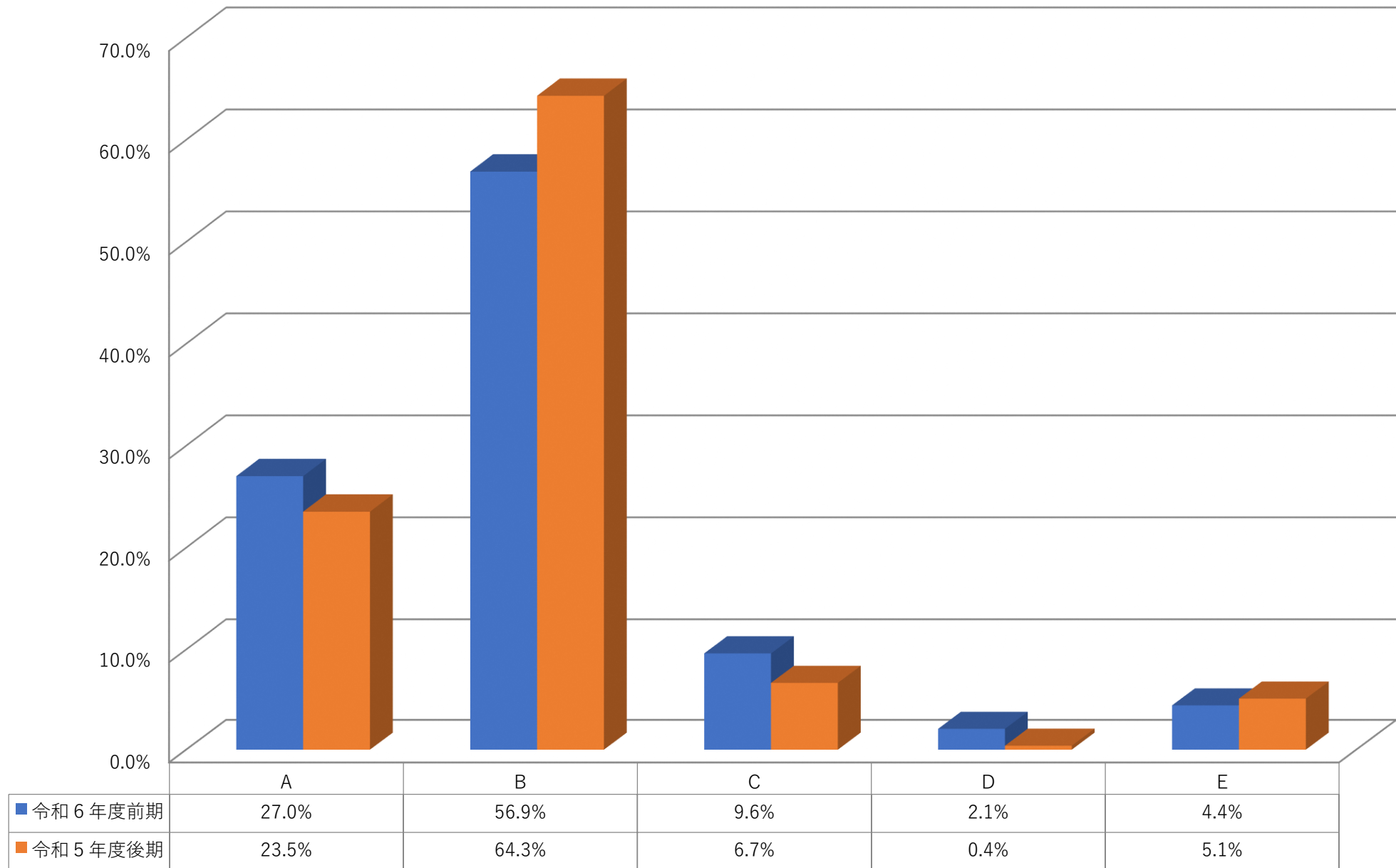
学校評価（保護者）アンケートについて

- ・ 年2回（今年度は7月と12月を予定）実施
→ 児童と教職員は12月に実施
- ・ 専用フォームからオンライン回答
→ 児童数で回答を依頼
- ・ A:そう思う, B:そう思うことが多い, C:そう思わないことが多い, D:そう思わない, E:どちらとも言えない の5段階評価
- ・ 学校が設定した評価項目について, 保護者・児童・教職員がそれぞれの立場から評価を行い, その内容を今後の教育活動に生かすことを目的に実施。
→ 令和5年度より「自由記述欄」は廃止。
- ・ 回答率の低さが課題。より正確に分析を行うため, 引き続き協力依頼を行う必要あり。（令和5年度後期回答率49.9%〔255/511人〕）
→ 今回の回答率75.8%（386/509人）

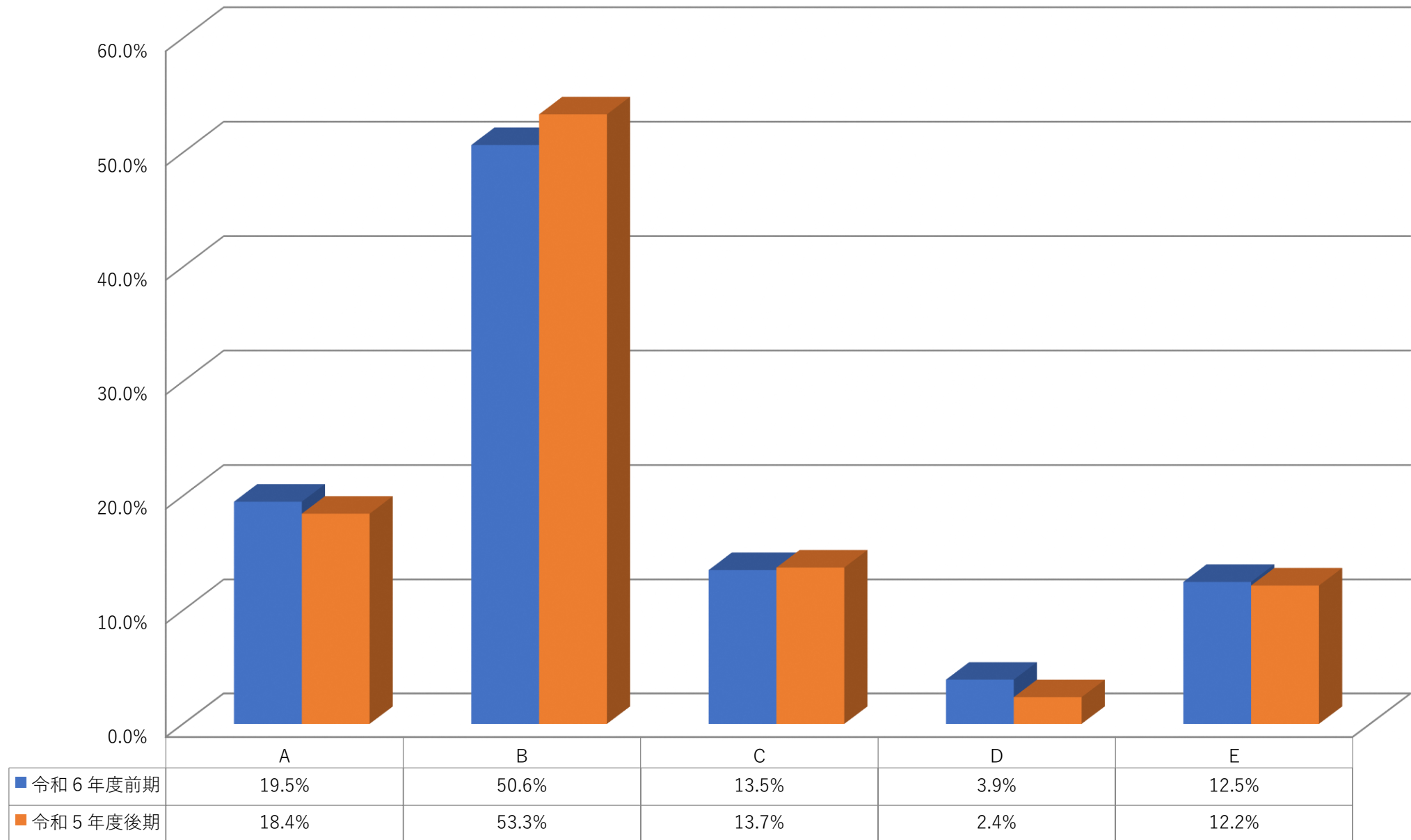
1.お子さんは、先生や友だち、おうちの人、近所の人に
進んで挨拶をしていますか。



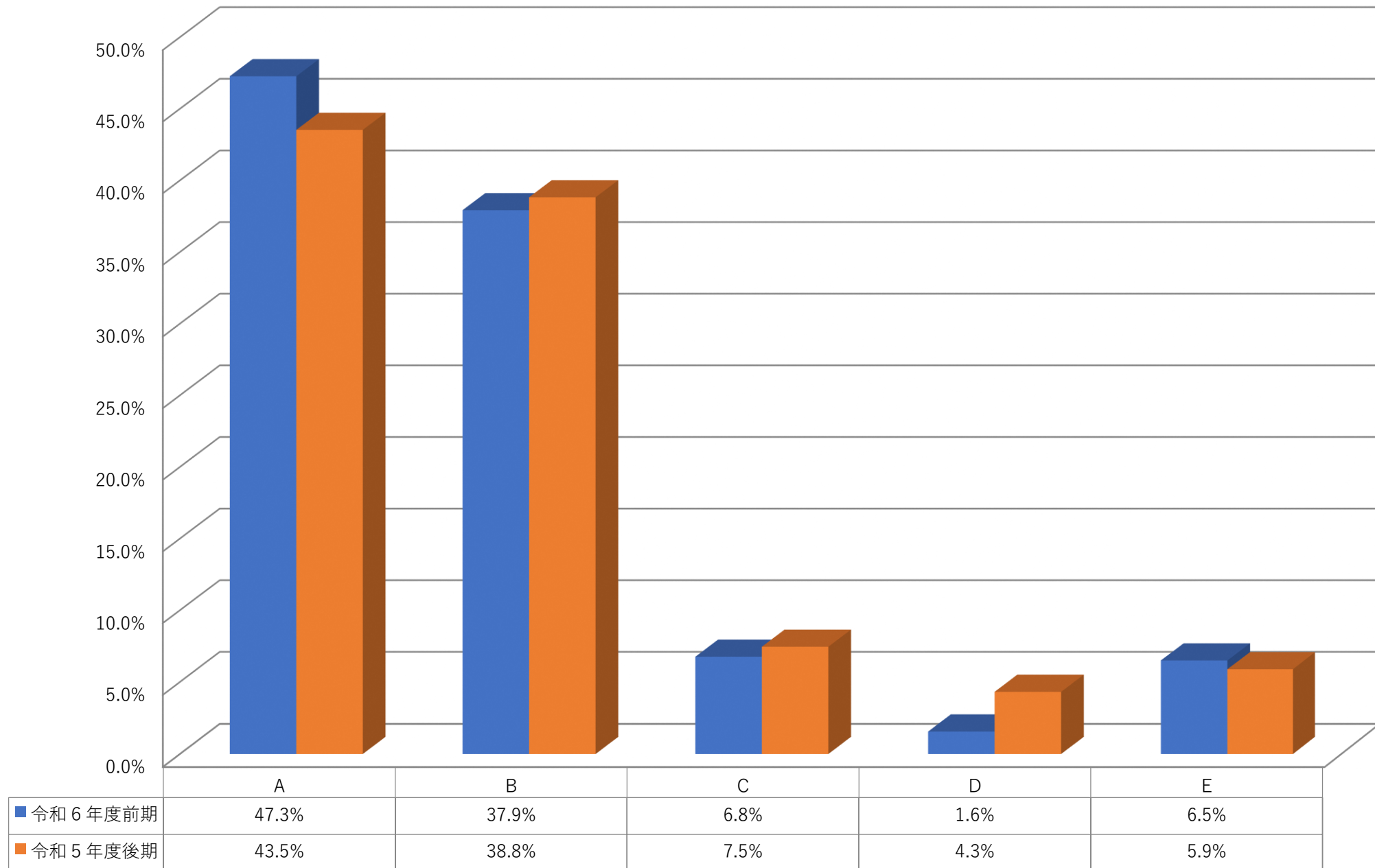
2. お子さんは、友だちや大人の人に「ありがとう」や「ごめんなさい」など自分の気持ちを伝えることができますか。



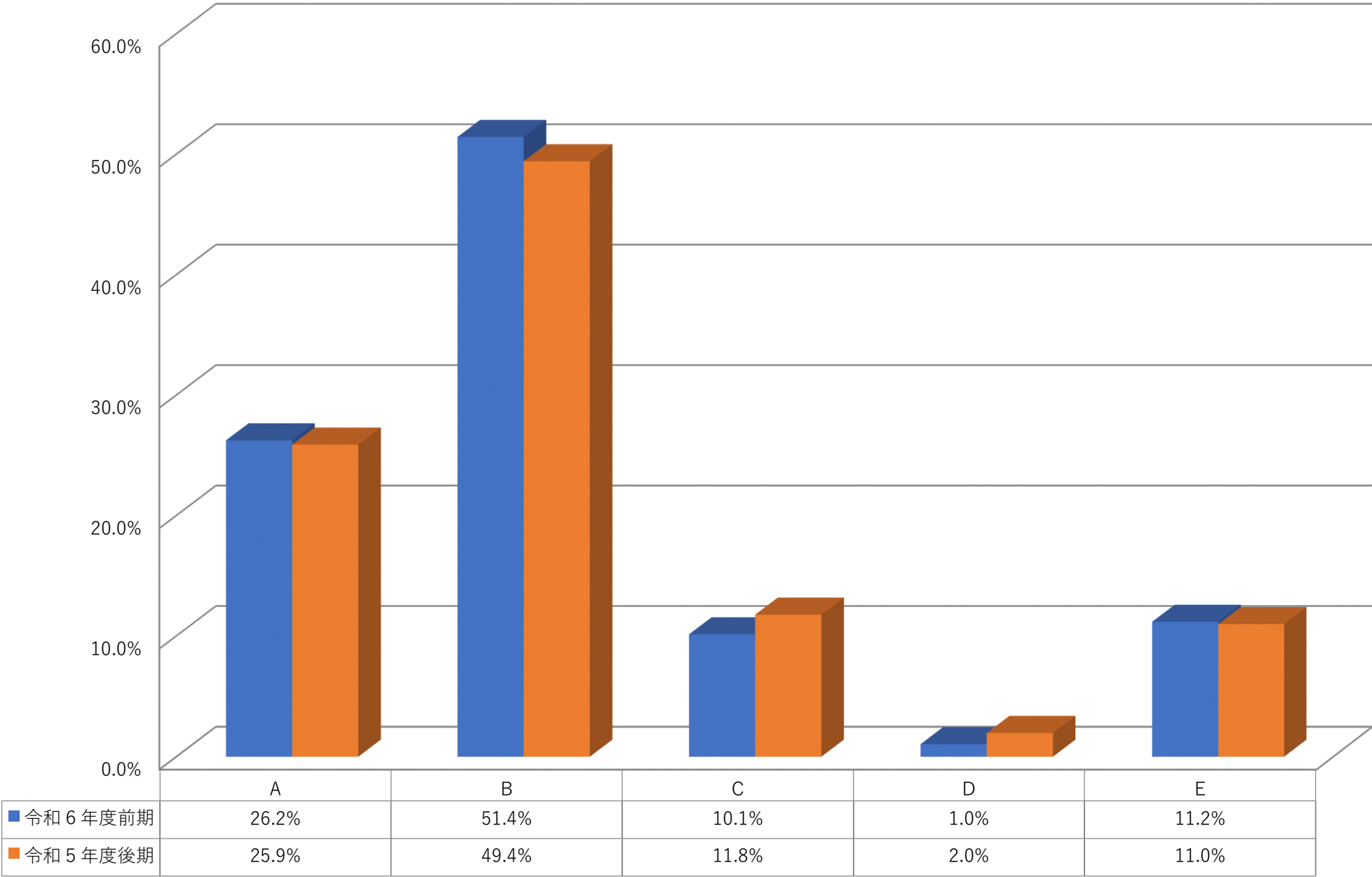
3.お子さんは、何事もあきらめずに頑張って取り組もう
とする気持ちを持っていますか。



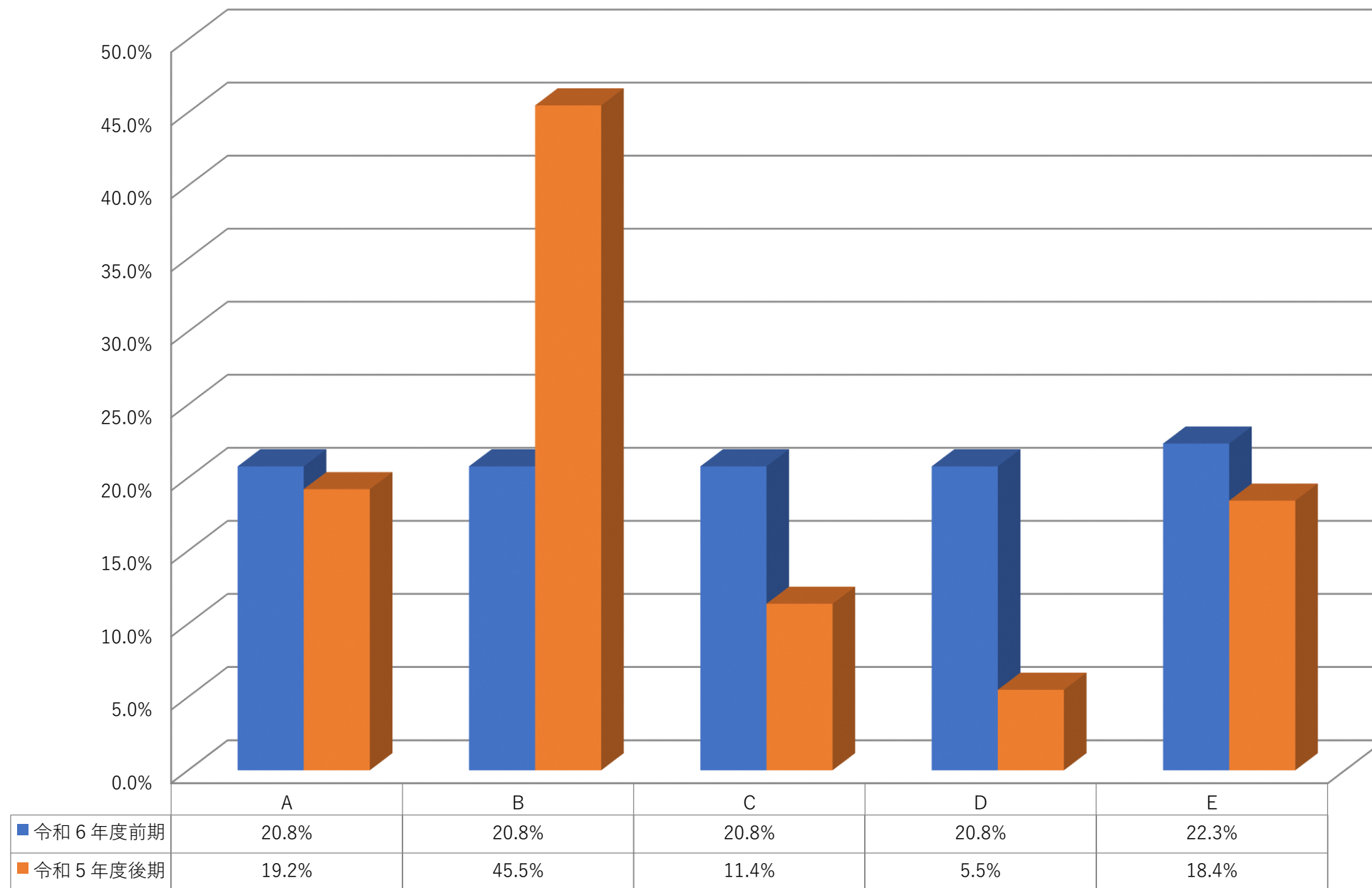
4.お子さんは、学校に喜んで登校していますか。



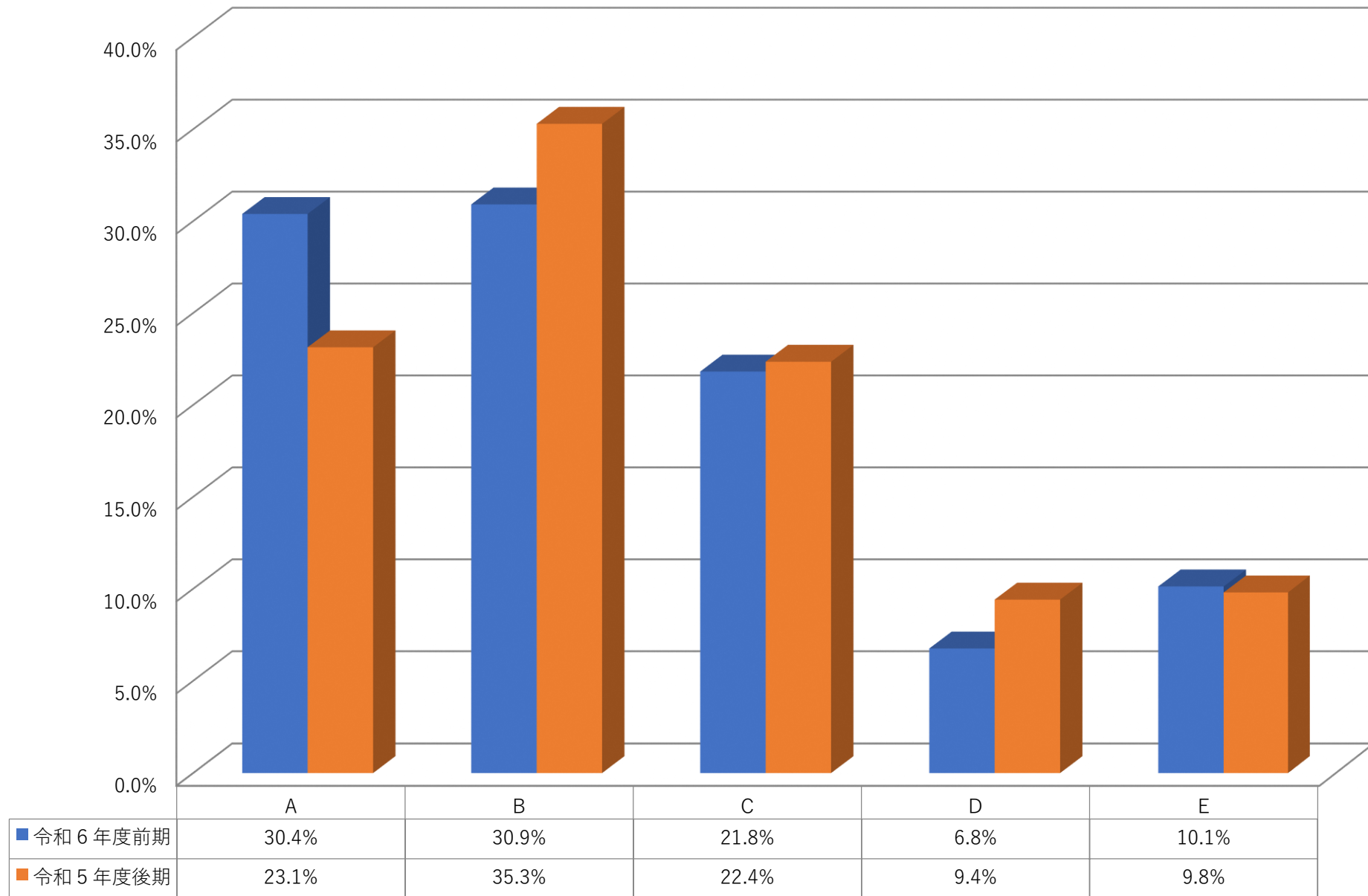
5.お子さんは、学校の勉強がわかっていますか。



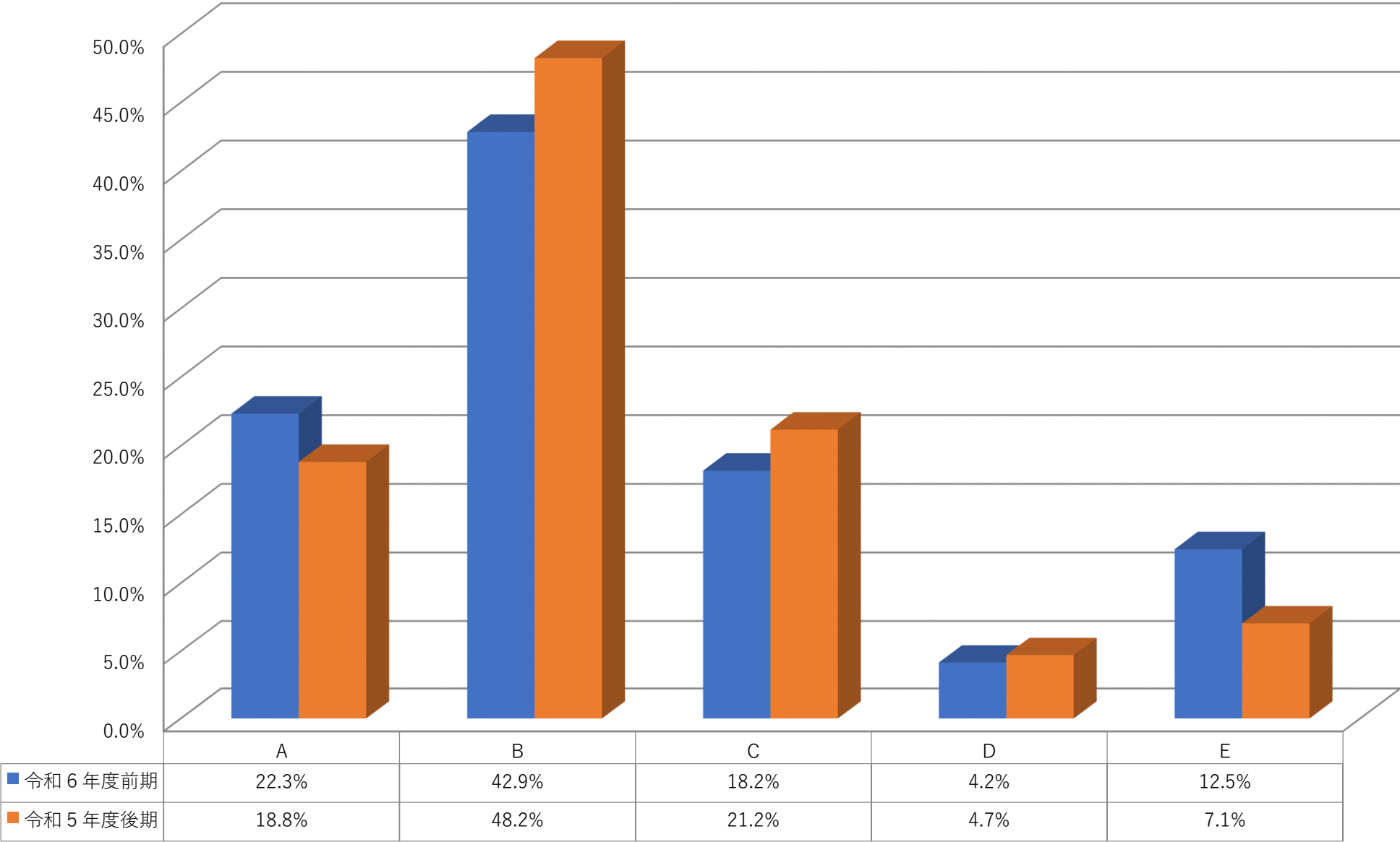
6.お子さんは、外国語活動や外国語の勉強で、様々な国の文化に触れる機会を持つことができましたか。



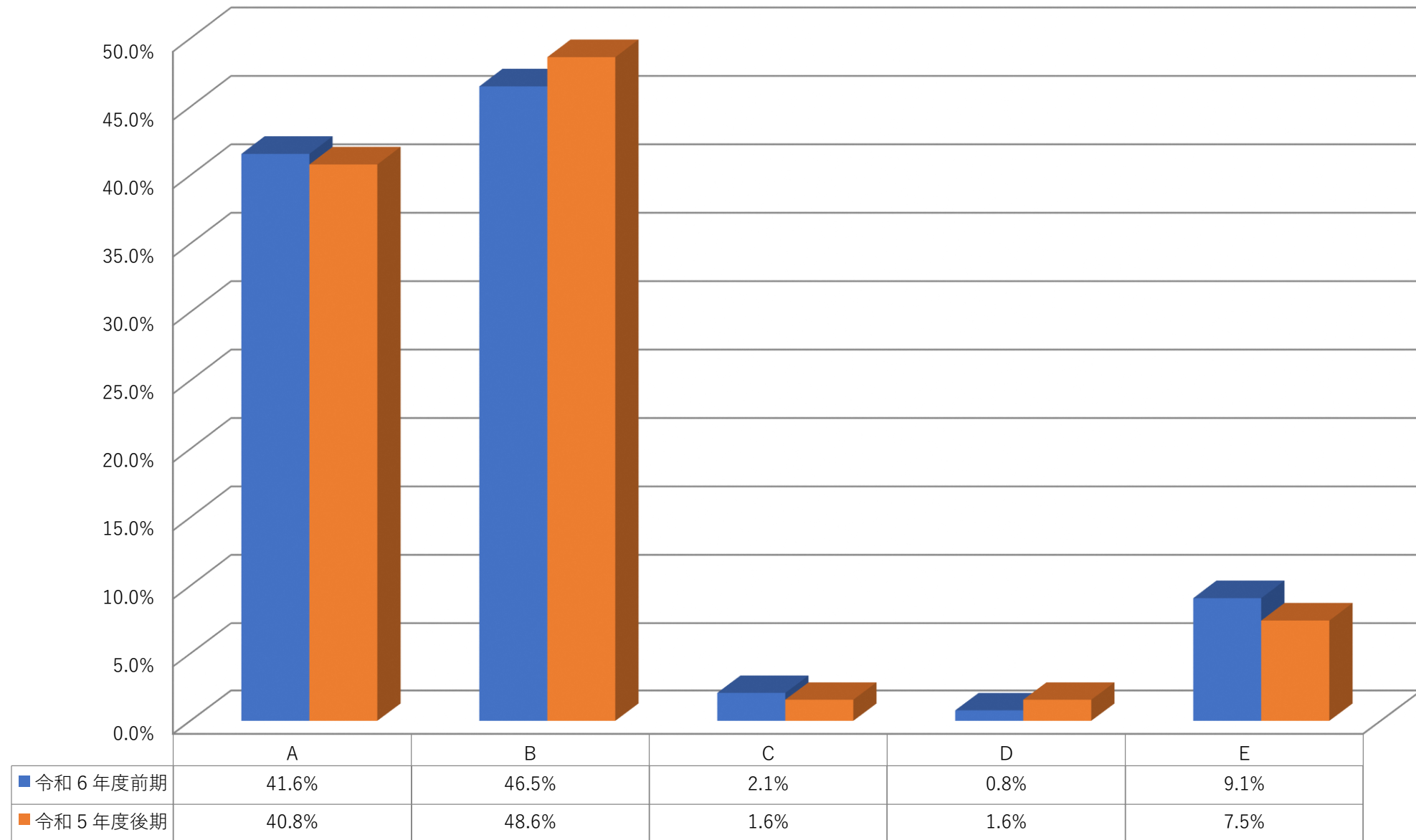
7.お子さんは、家庭学習の習慣が身についていますか。
(学年×10分が目安)



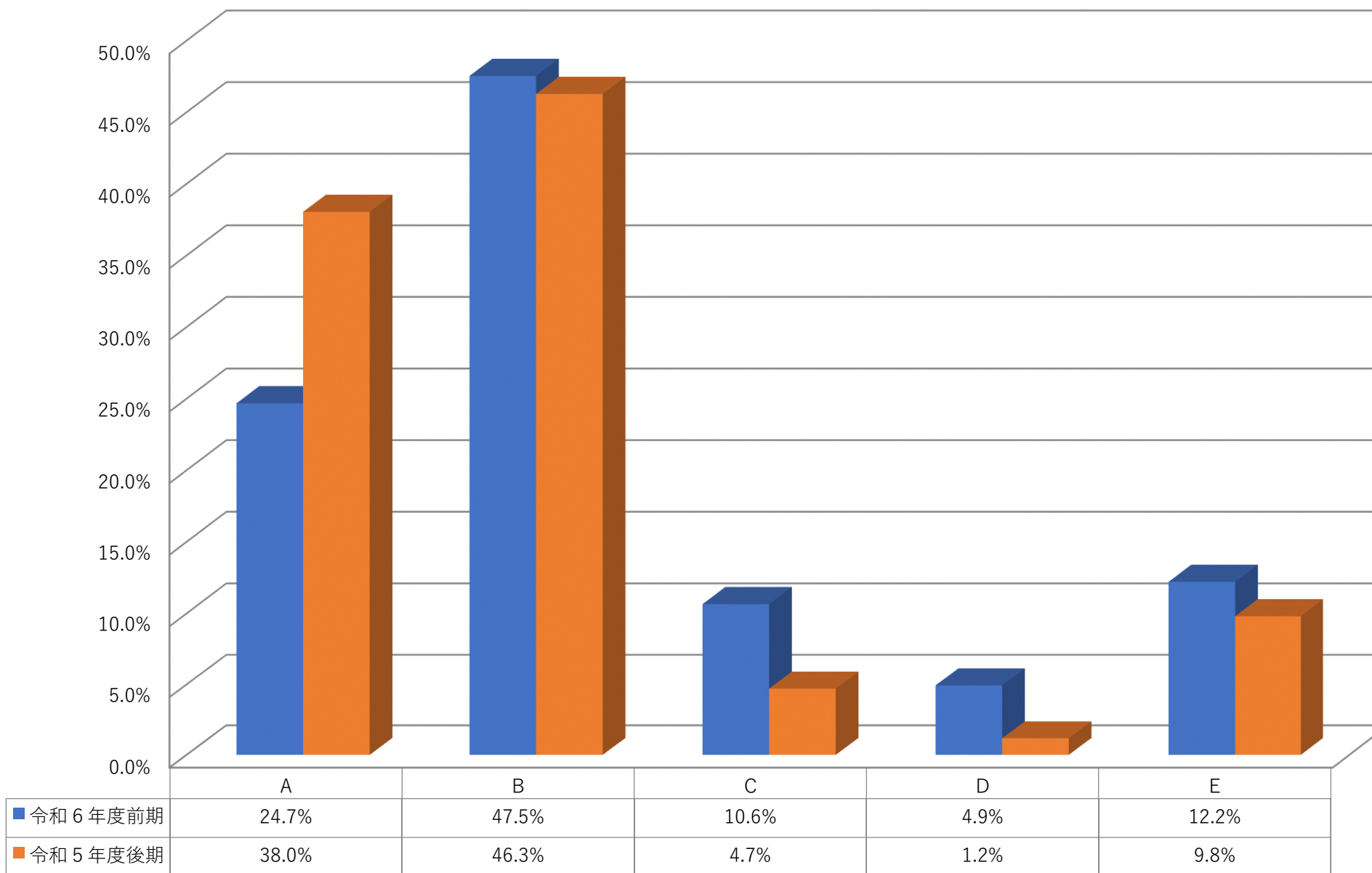
8.お子さんは、きまりやルールを守っていますか。（時間のルール、自転車などの交通ルール、携帯電話やスマートフォン、ゲーム等の家庭のルール）



9.学校は、保護者からの連絡や相談の
適切な対応に努めていますか。



10.学校だよりや学年だより、メール配信等により、
学校の様子が伝わっていますか。



考察

- 設問 1～3 について
本校の指導重点である「ひがしの3A」（あいさつ, ありがとう, あきらめない）については, 数値からも肯定的評価は高く, 目指す児童像に迫ることができていることがうかがえる。一方で若干ではあるが、昨年度末よりも肯定的評価のポイントが下がっており、「自ら進んで」というところに課題があると考ええる。
- 設問 4 について
肯定的評価が高いことはとても喜ばしいことであるが, 100%を目指すことが責務であり, 今後も児童にとっても保護者にとっても, 笑顔いっぱい楽しい学校となるよう努めていく。
- 設問 5 について
令和5年度後期では, 保護者と児童の肯定的評価に12.3%の差が生じたことを受け, 学習内容の「定着」を課題の一つと捉え, 手立てを講じてきた。今回肯定的評価が 77.6%と前年より少し向上している。引き続き, 手立てをしっかりと講じていきたい。

考察

- 設問6について
浦安市では文部科学省から教育課程特例の指定を受け、低学年の生活科の時間14時間分を外国語活動に充てて指導していることから、児童は外国語に慣れ親しむことができていると考える。一方、保護者からのフィードバックからは、「家庭でほとんど話題に挙がらないため、効果の実感がない」という内容が多く、インプットしたことをアウトプットできていない児童の姿がうかがえる。授業参観時に保護者へ授業公開するなど、周知を図りたい。
- 設問7について
家庭学習の習慣化ができていないことが課題となっていたため、本年度は特に3年生以上で、同じ課題を一律に全員に課す「宿題」ではなく、自分で課題を見つけ、課題解決のために何をするかという、「自学習の習慣化」を年度初めに保護者へ周知し、これまで実践してきた。その成果が、少しずつ児童の姿としてあらわれていると考える。引き続き発達段階に応じた家庭学習の習慣化を目指したい。
- 設問8について
児童の様子を見る限りでは、規範意識を持って行動する姿が多く見られる。ルールを課すだけでは、抜け道を探ったり、表面上守っているふりをしたりと、規範意識の向上は見られない。「なぜルールがあるのか。」「なぜ守らなければならないのか。」「守らないことでどのような事態が想定されるか。」など、児童に考えさせたり、一緒にルール作りを行ったりすることで、「自分事」と捉えさせるような手立てを引き続き講じていきたい。

考察

- 設問9について
このように評価を頂けたことは、教職員にとって大変励みになる。これも、保護者の皆様が「学校の働き方改革」にご理解ご協力をいただいていることで、児童と向き合う時間の確保に繋がったり、教職員に心のゆとりが生まれたことが要因となっていると考える。一方で保護者のフィードバックの中に少数ではあるが、「組織で対応できていない」ことを危惧する内容がある。問題に対し、当該教諭が個人で抱え込み、対応しきれずに体調を崩し休職に至る事例は全国でも多数報告されている。本校ではそのようなことが無いよう、「チーム」で対応にあたるよう、組織力の強化に努める。
- 設問10について
否定的評価のフィードバックの中に、ペーパーレス化に対する意見が多くあった。ペーパーレス化は、教育現場に限らず、推進していかなければならない課題である。キッズビューの導入により、電子文書を直接配信することができるようになったことで、利便性が向上したと考える。紙文書での提供が必要なご家庭については、引き続き個別対応をしていきたいと考える。
一方で、キッズビューについては、浦安市からのお知らせも含め、配信数が増えていることから、配信内容に対する意識が希薄になってしまうことを危惧する意見が多数寄せられた。この点については、市教育委員会への情報を共有する。また、昨年度、学校HPで「子ども達の活動の様子」を配信していたが、本年度も続けてほしい旨のご意見を多数頂いた。学校HP、紙面、キッズビューと、それぞれの配信媒体の長所短所を改めて整理しながら、保護者への情報提供に努めたいと考える。